

単元名 心に残ったあの時あの場所(絵)

配当時間 6時間

単元の目標 (1) 普段の生活や身の周りを見つめ、表したいことに合う形や色の特徴をとらえ、工夫して絵に表すことができる。
 (2) 心に残ったことや様子を想像し、どのように表すかを考えるとともに、友達や自分の作品からよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めることができる。
 (3) 心に残ったことや様子を想像し、主体的に絵に表す活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

05080102_001

【準備等】画用紙、色画用紙、水彩用具一式、コンテ、墨汁、割りばしペン、クレヨン、パス

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 今までの生活の中で、心に残った情景を思い出す。 ○自分の生活を振り返り、心に残った場面を発表する。</p> <p>★心に残った場面や様子を絵に表そう ○スケッチをする。</p> <p>2 スケッチを基に、画面構成を工夫しながら下絵をかく。</p> <p>○画面構成を考えて下絵をかく。 ・一番かきたいものの位置 ・周りのものの様子 ・人の動き</p> <p>3～5 自分の思いが表れるように、表現を工夫しながら彩色する。 ○効果的な表現になるように工夫する。 ・混色 ・重色 ・筆の使い方 ・描画材の組み合わせ方 ○全体の色を調子を整えながら彩色する。 ・中心になるものの色 ・周りのものの色 ○全体のバランスを整えながら、作品を完成する。</p> <p>6 友達の作品を見て、その思いを話し合い、よさを感じ取る。 ○絵に描かれた人物の表情から、宿泊研修の楽しかった思いが伝わります。 ・水に映る夕日を、色を少しずつ変えて表現しているところがきれいです。</p>	<p>・教科書5・6上 P.22,23 ・「いい感じ」「素敵だな」と思った場面や、そのときの様子などを発表させると効果的である。</p> <p>・写真などの資料を事前に準備する。 ・心に残ったことをスケッチだけでなく、文章にして説明させてもよい。 ・下絵は、一番気に入ったスケッチを基に、自分の思いが伝わるような画面構成を考えさせる。 ・一番表現したいものが画面の中で主張できるように、周りのものとの関わりを考えさせる</p> <p>・机間指導をしながら、個々に合った助言をしていく。 【評】主題をどう表すかについて考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・彩色の仕方については、すでに学習しているが、繰り返し指導することで定着を図る。</p> <p>・中心になるものと周りのものとの色の関係や雰囲気を感じ取らせながら、表現を工夫させる。 ・活動の途中で、自分の意図しているものが表現されているか、確認させる。 【評】想像した場面や様子に適した表現を見つけ、絵に表す活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・友達の作品に対する思いやそのよさを感じ取らせる。 ・鑑賞カードを用意し、友達の作品のよさを記入し、話し合わせる。 【評】お互いの作品のよさや作者の思いを感じ取る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 【評】これまでの学習活動や作品を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】